

COLUMN: 先生紹介 ▶ 加戸 健太郎 (高殿教室)



皆さん、はじめまして。昨年の12月から開智総合学院に仲間入りさせていただきました加戸健太郎と申します。広島生まれの大阪育ちで、お好み焼きは僅差で広島風の方が好きです。大学・大学院では法学を専攻し、その後は十数年一般企業で働いておりました。この度一念発起して塾講師になることを決意し、縁あってカイチの仲間になりました。今は研修中の身ですが、皆さんの前に立って一緒に勉強できる日を心待ちにしております。

皆さんと勉強できる日を心待ちにしながら
只今研修中!

カイチに入社してまだ1カ月ちょっとですが、その中で特に感銘を受けたことを一つ。研修期間中は基本的に高殿教室の教室長である岡本先生と行動を共にしているので、岡本先生の担当している高殿や今福のパスカルキッズの授業によく入らせてもらいます。みんな本当に粘り強く考え、自分の力で正解に辿り着いているところが凄いなと感じました。先生方も安易に答えや解き方を教えるのではなく、子供達の様子やその日のコンディションを見極めながら徐々にヒントと促しを与えていき、最終的には生徒が自分で答えを導き出せるよう絶妙な距離感でサポー

トしていることが非常に印象的でした。こうやってカイチの生徒達は自分の頭で考える力を幼少期から養っているからこそ、小学校高学年～中学生になって勉強内容が複雑多岐に亘るようになって、しっかりと自分自身の課題に向き合って自己成長していけるんだなと思いました。まだまだ先生方や生徒達から学ばせていただくことばかりの日々ですが、早くカイチの一員として皆さんの力になれるよう精一杯頑張ります。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

小幡の
ちょっとイイ話
TEACHER'S VOICE 関目教室 小幡 翔太郎

新生活レポート～家事手伝いのススメ～

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナで生活が一変した一年でした。はじめは大変だと感じていた衛生面の対策にも慣れ、インフルエンザの患者数が例年の0.5%程度という情報に驚かされつつ、人の意識を根底から覆すウイルスとの戦いの渦中にあることを、改めて感じている今日この頃です。

私事ではありますが、昨年一人暮らしを始めました。今回は、皆さんが将来自立するときに役立つであろう「練習しておくべき家事」ベスト3を発表したいと思います!

第一位 ～洗濯～

一つ目は洗濯です!洗濯物は毎日出ます。そしてサボるとすぐにたまっていきます。「えっ、そんなに洗濯機入れてボタン押せばええだけやる?」と思うかもしれませんが、コレとコレは一緒に洗っていいの?洗濯ネットはどんな時に使うの?色物はどうやって洗濯する?おしゃれ着はどうする?布団カバーってどうやって洗うの…など、実際やってみると難しいことがよくあります(そして迷っている間にまた洗濯物がたまる…)。今のうちに家の人にも聞きながら、少しずつ覚えていくと、役に立つと思いますよ!

第二位 ～掃除～

二つ目は掃除です。「あんた部屋片づけとき

や!」「うっさいわ!」なんて言っているあなた。あなたの部屋は、引っ越し3か月後にはぐちゃぐちゃになっていることでしょうか…。

掃除機をかけるのは当たり前ですが、意外に面倒なのは「ゴミの分別」。ペットボトルのキャップは?汚れているプラごみは?段ボールはどうやって出すの、そもそも何ゴミ?クリーニングのハンガーってプラごみとちゃうの…。将来ゴミ屋敷を作り出さないよう、分別の勉強をしておきましょう。

第三位 ～買い物～

最後は買い物。買い物で困るのは「どこに何が売っているか、どこで買うと安いのか?」「相場はどれくらいなのか?」ということ。おつかいに行く際には、野菜コーナーやお肉コーナーもよく観察して、大体の値段を知っておきましょう。特に野菜はその年の天気などにも値段が大きく左右されます。「キャベツなんでこんなに高いんやろ?」と思ったときは、ぜひその理由を調べてください。皆さんの生活と「理科」「社会」は、色々な場面で結びついていることが感じられると思います。

以上、いかがでしたでしょうか?これ以外にも、ご飯を作ったり、お風呂を掃除したり、お金の管理をしたり…と、生活するだけでも様々なこと

をしていかなければなりません。日頃、皆さんを支えるためにそれをしてきている家族に感謝しつつ、未来の自分(といっても、15歳の人なら、20歳で一人暮らしということもあり得ます。意外とスグかも…)のために、お家のお手伝いをしてみてはいかがでしょうか?



▲クリスマス前には、先生がサンタに!?



▲クリスマス会のかわりに、お菓子交換会を行いました。「クジであてたで〜!!」



▲今年も元気に頑張りましたよ〜!!

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

January 2021
Vol. 100
毎月10日発行【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【高殿教室】 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008	【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220
【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

今年の目標を紙に書いてみよう

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。今年はコロナ自粛のため、東京にいる妹一家は来ず、奥さんの実家も挨拶だけで帰ってきました。例年にはない少し寂しいお正月ですが、毎年恒例の伏見稲荷大社の初詣だけは、日程を外して行こうと考えています。

私は初詣を大切にしています。伏見稲荷は美しい千本鳥居が有名で、稲荷山そのものを神として祀っています。毎年、麓の本殿からスタートし頂上の末広社まで登るようにしています。この間にたくさんのお社があるのですが、あくまでも我流ですが、私はその都度手を合わせて、その年の目標を心の中で唱えます。ただ、伏見稲荷には随所にお社がありますので、頂上に着くまでに何度も何度も繰り返し目標を心の中で唱えなければなりません。すると、何度も唱えるうちに、本当に必要ではないものは唱えなくなり、唱える言葉も短くなっていきます。そうして、頂上の末広社に着くまでには、今年自分が本当にやりたいことが簡単な言葉で表せるようになります。そして、明確にした目標を忘れないよう、手帳の裏表紙にその目標を書いています。

それが、何年間も癖になっていて、それをしないとなんだか気がすみません。自己啓発本などに「目標を紙に書くと叶いやすい」とはよく言われることですが、決めた目標を紙に書いて忘れないようにすると、そのための情報が自然に集まったり、達成率がグッと上がる気がします。

受験生を見ていると「～高校に必ず合格する」と明確な目標を持ち努力を重ねる生徒は、最初は学力が到底足りなくとも、最終的に合格している場合が多い気がします。昔、私が指導していた大手前志望のT君は、もともと実力的に厳しかった上に、クラブのトラブルでモチベーションが下がってしまい、内申点も大幅ダウン。7月の三者懇談では「厳しい」という評価でした。しかし、彼は一念発起しある日から、手の甲に「大手前高校合格」と油性マジックに書いて通塾するようになり、成績が悪くても、その目標と否応でも向き合って努力を続けていきました。嘘のような話ですが、11月には彼の学力は大手前高校ギリギリのラインに到達し、内申点も受験直前の2月末で最低ラインに到達、合格を手に入れました。

いざ、目標を紙に実際に書いてみればわかりますが、心のどこかで「本当にできる?」という気持ちが沸いてきます。人間は本質的に正直です。特に自分に嘘をつくのは嫌なもので、できもしないことを書くのは抵抗を感じます。ですから、目標を紙に書く時には、自然と、「やろうという覚悟」が必要になります。この「覚悟」を持つことで目標に対する目的意識が芽生え、どうすれば目標に近づくことができるのか、自分はどのように努力を重ねるべきなのかを考えるようになります。また、目標を意識することで、様々なことを目標とつなげて考えるようになり、自然と自分が今すべきことが分かってくる。後は、それに従って粛々と努力を続けていきます。

そのように考えると、冒頭の初詣も昔の人のすばらしい知恵のような気がします。神様に祈ることも大切ですが、自分の心の中で唱えて、やるぞと覚悟を決めてそれを1年持ち続ける。そうすることで願ひ事を叶える確率を高めているのではないかと思います。また、先日中学3年生のクラスへ激励に来てくれた先輩達も話していたように、合格の秘訣は「最後まで諦めないこと」。そのために、明確な目標を書いて目につくところに貼り、忘れないことは効果的だと思います。

どうか皆さん、新年の目標を紙に書いて、目的意識を持って1年を過ごしてみてください。もし、100%達成できなくても必ず自分なりの進歩を感じられるはず。そうして、毎年新たな目標を持ち挑戦していけば、目標の達成の仕方でも年々上達し、やがては凄いことを成し遂げられるかもしれません。

1年が始まりました。今年もまた、大好きな塾の仕事ができることを本当にうれしく思っています。カイチの塾生数は昨年度、コロナ禍にも関わらず過去最高となりました。慣れないZOOM指導でご迷惑をおかけし、休校期間の子供達の成績向上に悪戦苦闘している中、たくさんの方にお越しいただき、心底で難いことだと思いましたが、地元密着の塾として、至らないながらも私達たちができることはまだまだあると考えております。皆様の期待に応えるだけでなく、皆様から更に期待していただけるような塾になる。今年も1年間、精一杯努力を重ねて参ります。何卒宜しくお願いいたします。

カイチからの
お知らせ

- 1月24日(日)は英検のテスト日です。TK・中学英検のみんな全員合格目指して頑張ろう。
- 1月28日(木)・29日(金)は小4～中2の診断テストを実施します。
- 2月6日(土)・13日(土)・20日(土)・27日(土)は新年度入塾説明会を実施します。入会をご希望の方は是非ご参加ください。
- 2月10日(水)は私立高校入試日です。受験生のみんなガンバレ!

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



高殿教室 素直な生徒達を今年も1年、 しっかりサポートしていきます。

近久 賢治 (高殿教室)

大寒も過ぎ、寒さも一層厳しくなってきましたがいかがお過ごしでしょうか。高殿教室の近久です。早いもので2020年もあっという間に過ぎ去り、また新しい1年が始まりました。旧年中はコロナショックから始まる激動の1年でしたが、何とか無事に新年を迎えられてホッとしています。そんなホッとしている暇もあまりなく、中3生は受験に向けてのラストスパークが始まります。後悔の無いように学習を積み、何より体調に気を付けて目標達成に向けて突き進んでいってほしいと思います。



▲キッズクラスのみならず本当に一生懸命。

さて、今回は高殿教室の1年を振り返りたいと思います。

珠算部は、年度初めは初心者で、なかなか珠を置けない子も多かったです。最近では成長めまぐるしく心強い限りです。競技大会は惨敗でしたが、今年こそは持ち前のチャレンジ精神で頑張っていってほしいと思います。

そしてTK(トーキングキッズ)。まだ少数ながらも、小学1年生で3級を合格する子が現れたり、2級をチャレンジする子が現れたりとハイレベルな1年になりました。合格に向かって努力する姿には頭が下がります。

パスカルキッズにもタングラム(パズル)をすごいスピードで解く子など、こちらもハイレベルでした。キッズ部門の生徒を見て感じるのが、何より「カイチという塾が好きで来ている」ということです。皆一様に楽しそうに授業を受けているな、と感じます。



▲理科実験の1コマ。楽しんでいるのが一番。

続いて学習部です。小学部では12月度診断テストで初めて5年生・6年生共に上位者表に掲載することができました。診断テストの直前の授業で「診断の日さー、先生の誕生日の翌日やねん。あとは分かるやろ？」みたいな話をしていたのですが、見事に良い誕生日プレゼントになりました(笑)。全員徐々に「どこまで何をやればいいのか」という意識が芽生えてきていると感じます。

中学部は定期テスト・診断テスト共に大健闘の1年でした。

1・2年生は部活で忙しい中、通常授業の宿題の見直しや、小テストなどの課題もしっかりやり抜けるようになってきています。3年生も各々の目標に向けて、そして直近の課題に向けて頑張っています。どの学年もやる気に満ち溢れ、出来ていない部分を意識して一生懸命頑張ったからこそその結果だと思います。その甲斐もあり、定期テストの結果も上々で、たくさんの生徒が努力賞・カイチ賞をもらっていてこちらも嬉しくなりました。

キッズ部門にも学習部にも言えることですが、皆まっすぐな良い生徒達ばかりです。

そんな素直な彼らを今年も引き続き叱咤激励、サポート、応援していければと思いますのでよろしくをお願いします。



2学期期末テストでは、教室全員(中1～中3)の5教科平均が400点以上という驚異の結果でした。

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



将来の職業を考える

対馬 秀彦 (カイチ予備校、エニグマ)

■カイチの先生同士はケンカします

カイチの先生方は、先生方同士よくケンカをします。ただ、もちろん、つかみ合いのケンカをしたり、怒鳴り合ったりするわけではありません。



▲こういうケンカではないです(今福教室にて)

カイチの先生方のケンカは、「教材を選ぶ際はこういう観点を持つべき」「生徒の進路指導はこうするべき」「よい教室はこうあるべき」というようなところに端を発しています。

ケンカが勃発すると、その瞬間は雰囲気が大変悪くなりますが、先生方はすぐに何事もなかったかのように授業に戻ります。次の日には、全員、いつも通りに仕事をされます。

昔はこういう雰囲気の塾も多くあったのですが、2021年、この時代にカイチのような熱い塾が存在しているのは驚きです。普通、「よい教室はどうあるべきか」ということで職員同士がケンカを始めることはないですよ。

■カイチの先生の仕事観

こういう状況になるのは、先生方が「生徒のために行動しているから」であり、「塾の先生としてプロ意識を持って働いているから」です。

プロ意識を持って働ける仕事。カイチの先生方は、日々、大変忙しくされていますが、プロ意識を持って働ける、幸せな職業人生を送っていただけるのだと思います。

「天職」という言葉があります。「天から授かった仕事」という意味です。中学生、高校生の頃にはあまり感じることはないかもしれませんが、「どういう職業につくか」は幸せな人生かどうかを決める大きな要因です。いくら偏差値の高い学校に行こうが、いくらお金持ちになるのが、自分が「天職だ」と思える仕事にめぐり合えなければ、なかなか充実感のある幸せな人生にはなりません。

カイチに通っている皆さんには、ぜひ、早いうちから「職業」を意識して進路を考えてほしいと思っています。

■高校生の進路指導

私は現在、高校生を指導することが多いのですが、高校生の「進路の相談」は、かなり直接的意味を持つ「職業選択の相談」になってきます。「大学でどの学部に進むか」によって、職業選択の方向性がかなり決まることが多いからです。医師や看護師、薬剤師など、そもそもその学部に進まないといけない職業もあります。

また、多くの高校では、高校1年生の終わりに文系クラスに進むか、理系クラスに進むかの選択をしなければなりません。よくあるパターンは、「数学ができないから文系」というような選択ですが、科目の得意不得意ではなく、将来の職業をイメージしながら考えることが重要です。

■社会人としてのカイチの先生方

ところで、カイチの先生の中には、塾の先生以外の仕事を経験されていた先生方がたくさんおられます。諸口の高木先生は社会人としてのスタートは「鮮魚」のお仕事でした。伊藤先生は「神主」でした。新しく来られた加戸先生はソフトウェア会社出身です。この多様な経験が、カイチの熱い雰囲気を生み出しています。



◀高木先生テキストの表紙は魚!

実家は神社!!▶



▲エリートプログラマでした??

一方で、塾の先生だけをされてこられた先生方もおられます。岸田先生は、途中で会社は変わられていますが、ずっと塾の仕事をされています。いわば「その道37年のプロ」なわけですね。この専門性が、カイチの高い教科指導力を生み出しています。



▲講師歴37年!

このような、社会で色々な経験をされている先生に「職業ってどう決めるべきか」を聞いてみると、新たな発見があると思います。

■カイチの先生と話をしてみよう

普段、カイチの先生と勉強について話をすることは多いと思いますが、職業について話をすることは少ないと思います。ぜひ機会があれば、「先生、前はどの仕事してたん?」「今の仕事楽しい?」と聞いてみてください。きっと、将来の職業を考えるヒントになると思います。

